

第10回極地と高山帯の菌学国際シンポジウム



The 10th International Symposium on Arctic and Alpine Mycology (ISAM10)

主催 ISAM10 実行委員会と日本菌学会共催

後援 石川きのこ会、金沢大学十全医学会、白山ユネスコエコパーク協議会、
国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット



ハクサンアカネハツ *Russula paludosa* Britzelm.

- ・ 2016 年 8 月 29 - 31 日 金沢 / 白山
市民公開シンポジウム 8 月 29 日午前
一般演題 8 月 29 日午後
白山菌類調査 8 月 30, 31 日
- ・ 2016 年 9 月 1-3 日 菅平

市民公開シンポジウム「白山高山帯の菌類と植物」

9:20-12:00 (公用語 英語)
於 金沢大学自然科学本館

1. 極地と高山帯の菌学に関する基調講演

ヘニング・クヌースン (デンマーク自然史博物館)

2. 地球温暖化と極地と高山帯の菌類 - 森林・ツンドラ移行帯のシロソウメンタケ類の菌相の空間的多様性

アントン・シリヤエフ (ロシア科学アカデミー植物・動物生態研究所)

3. 白山の概要 河原 栄 (石川きのこ会)、梅典雅 (白山自然保護センター)

4. 日本の高山植物の系統発生 - 本州高山帯の生物地理学的重要性

藤井 紀行 (熊本大学)

5. 白山の周極菌類相

糟谷 大河 (千葉科学大学)

一般演題 13:00- 16:30

大会長

星野 保

産業技術総合研究所

現地実行委員長 (金沢・白山)

都野展子

金沢大学

現地実行委員長 (菅平)

出川 洋介

筑波大学菅平高原実験センター

実行委員

糟谷 大河,

矢島 由佳, 能勢 育夫, 河原 栄

<http://isam10.sakura.ne.jp/index.html>